

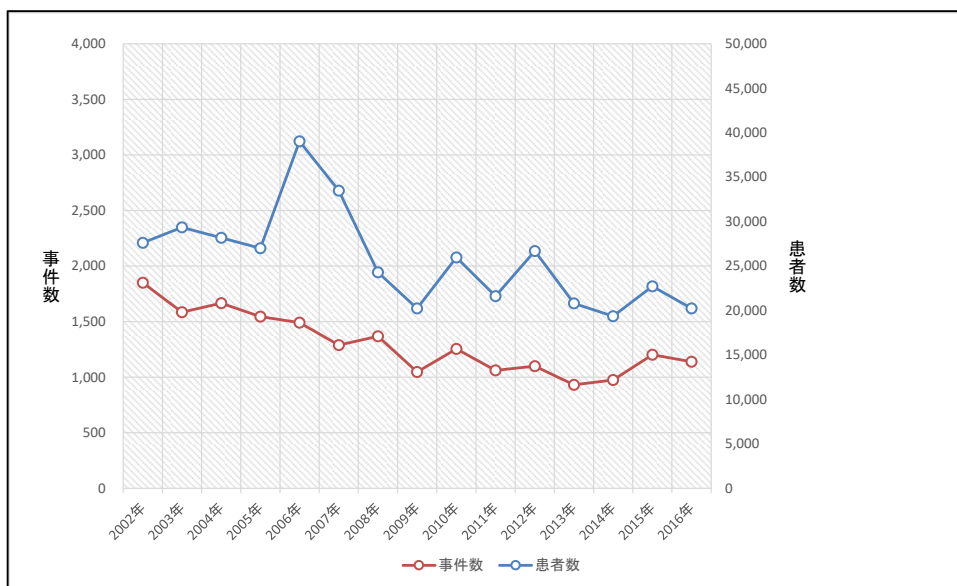


1. 全国食中毒の事件数と患者数の推移

2002年～2016年の15年間の全国における食中毒の発生状況をみると、事件数は、年によって変動はありますが、2002年から2013年までは減少傾向が見られました。2013年以降はやや増加する傾向がみられ、2016年は1,140件で、もっとも事件件数の少なかった2013年(931件)に比べて200件以上多く発生しています。

患者数は、ノロウイルスが猛威を振るった2006年に約39,000人発生しましたが、2008年以降は増減を繰り返し、約19,000～27,000人の間で推移しており、2016年は20,253人でした。

最近15年間の全国の食中毒の事件数と患者数の推移



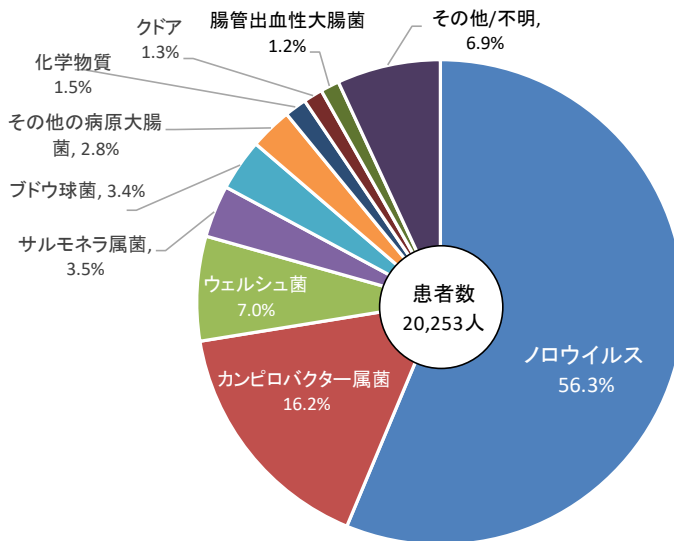
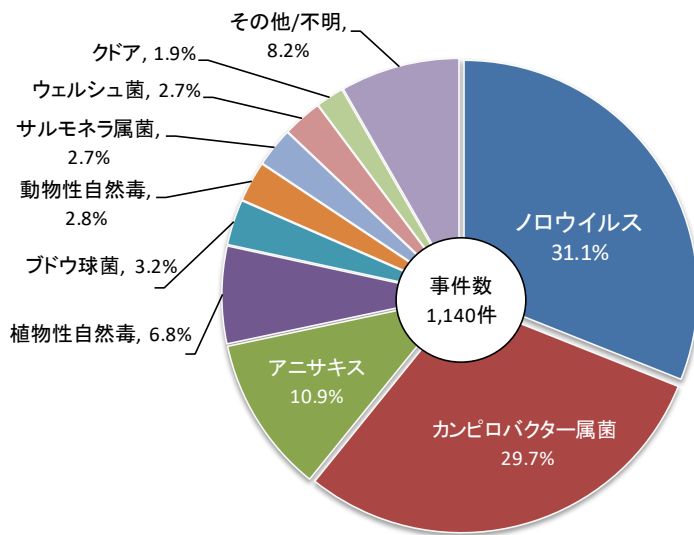
	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
事件数(件)	1,850	1,585	1,666	1,545	1,491	1,289	1,369	1,048	1,254	1,062	1,100	931	976	1,202	1,140
患者数(人)	27,629	29,355	28,175	27,019	39,026	33,477	24,303	20,249	25,972	21,616	26,699	20,802	19,355	22,718	20,253



2. 病因物質別の食中毒発生状況(2016年)

2016年の病因物質別の食中毒発生状況を見ますと、事件数はノロウイルス(354件)、カンピロバクター属菌(339件)で全体の約60%を占めています。アニサキスによる事件は124件で、3年続けて3番目に多く発生しました。

患者数はノロウイルスが11,397人で全体の56%を占めています。カンピロバクター属菌による患者数が3,272人と2番目に多く、2016年はウェルシュ菌による患者数が1,411人と3番目でした。最近3年間の事件数、患者数の推移は次頁をご参照ください。



3. 最近3年間の病因物質別の食中毒発生件数の推移

病因物質別食中毒発生件数(事件数)

病因物質	2016年		2015年		2014年	
	事件数	構成比	事件数	構成比	事件数	構成比
ノロウイルス	354	31.1%	481	40.0%	293	30.0%
カンピロバクター属菌	339	29.7%	318	26.5%	306	31.4%
アニサキス	124	10.9%	127	10.6%	79	8.1%
植物性自然毒	77	6.8%	58	4.8%	48	4.9%
ブドウ球菌	36	3.2%	33	2.7%	26	2.7%
動物性自然毒	32	2.8%	38	3.2%	31	3.2%
サルモネラ属菌	31	2.7%	24	2.0%	35	3.6%
ウェルシュ菌	31	2.7%	21	1.7%	25	2.6%
クドア	22	1.9%	17	1.4%	43	4.4%
化学物質	17	1.5%	14	1.2%	10	1.0%
腸管出血性大腸菌	15	1.3%	17	1.4%	25	2.6%
腸炎ビブリオ	12	1.1%	3	0.2%	6	0.6%
セレウス菌	9	0.8%	6	0.5%	6	0.6%
その他の病原大腸菌	6	0.5%	6	0.5%	3	0.3%
その他/不明	35	3.1%	39	3.2%	40	4.1%
計	1,140	100.0%	1,202	100.0%	976	100.0%

病因物質別食中毒発生件数(患者数)

病因物質	2016年		2015年		2014年	
	患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比
ノロウイルス	11,397	56.3%	14,876	65.5%	10,506	54.3%
カンピロバクター属菌	3,272	16.2%	2,089	9.2%	1,893	9.8%
ウェルシュ菌	1,411	7.0%	551	2.4%	2,373	12.3%
サルモネラ属菌	704	3.5%	1,918	8.4%	440	2.3%
ブドウ球菌	698	3.4%	619	2.7%	1,277	6.6%
その他の病原大腸菌	569	2.8%	362	1.6%	81	0.4%
化学物質	297	1.5%	410	1.8%	70	0.4%
クドア	259	1.3%	169	0.7%	429	2.2%
腸管出血性大腸菌	253	1.2%	156	0.7%	766	4.0%
腸炎ビブリオ	240	1.2%	224	1.0%	47	0.2%
植物性自然毒	229	1.1%	178	0.8%	235	1.2%
アニサキス	126	0.6%	133	0.6%	79	0.4%
セレウス菌	125	0.6%	95	0.4%	44	0.2%
動物性自然毒	73	0.4%	69	0.3%	53	0.3%
その他/不明	600	3.0%	869	3.8%	1,062	5.5%
計	20,253	100.0%	22,718	100.0%	19,355	100.0%

4. 原因施設別の食中毒発生件数

原因施設	事件数	構成比
飲食店	713	62.5%
家庭	119	10.4%
事業場	52	4.6%
旅館	50	4.4%
仕出屋	40	3.5%
販売店	31	2.7%
学校	19	1.7%
製造所	6	0.5%
病院	5	0.4%
その他/不明	105	9.2%
計	1,140	100.0%

原因施設	患者数	構成比
飲食店	11,135	55.0%
旅館	2,750	13.6%
事業場	2,002	9.9%
仕出屋	1,523	7.5%
学校	845	4.2%
病院	340	1.7%
家庭	235	1.2%
製造所	160	0.8%
販売店	146	0.7%
その他/不明	1,117	5.5%
計	20,253	100.0%

※本資料は厚生労働省ホームページに掲載されている食中毒統計調査資料のデータを編集したものです。元となるデータは次のURLをご参照ください。

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/112-1.html>